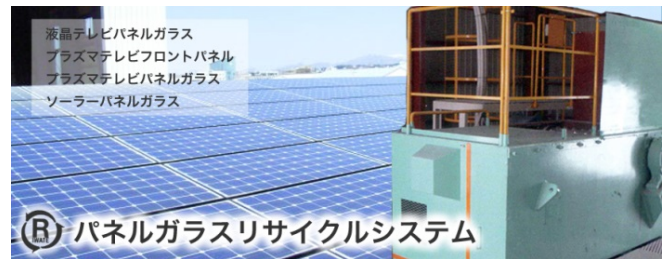
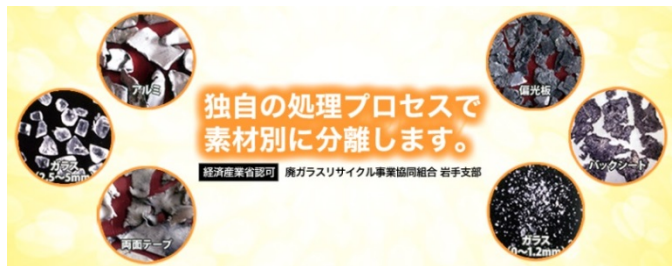


令和3年度

# 環境活動レポート

環境循環型社会の確立を支援しています。



対象期間：令和3年7月1日～令和4年6月30日

発行年月日：令和4年7月31日

株式会社 環境保全サービス

## 目 次

環境方針 .....	1
<環境理念> .....	1
<行動指針> .....	1
業務概要&認証登録範囲 .....	2~3
受託した産業・一般廃棄物の処理量 .....	4
実施体制 .....	5
設備 .....	6~10
環境目標 .....	11
主な環境負荷の実績 .....	11
環境目標 .....	11
環境目標の実績 .....	12
当該年度の環境目標の達成状況等 .....	12
環境活動計画の内容と取組結果、次年度以降の取組内容 .....	13
取組内容 .....	13
次年度以降の環境目標 .....	14
取組結果 .....	15
次年度の取組内容 .....	16
代表者による全体評価と見直しの結果 .....	17
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無 .....	17

# 環境方針

## 〈環境理念〉

環境用品、環境機器を開発する目的として設立した会社として環境保全に努め、環境への取り組みを徹底します。

廃ガラスリサイクル事業を展開し、未利用資源（色付きガラスびん、自動車ガラス、複層ガラス、家電ガラス等）の再資源化を図り、将来大量廃棄の見込まれる太陽光パネルガラスのリサイクルシステムの確立を目指します。

事業展開中は地球環境改善に貢献するため、省エネ、省資源、再資源化を常に意識し、環境関連法規の厳守、環境負荷低減、環境保全活動を積極的に取り組みます。

## 〈行動指針〉

1. 事業活動に使用する機器の省エネに努めます。車両は eco ドライブに努め使用燃料の削減、環境に配慮した事業活動を展開します。
2. 3R活動の一環として、紙ごみを減らしリサイクルして環境活動に貢献します。  
又、工場においては廃ガラスなどの廃棄物のリサイクルに努め、リサイクル商品の販売促進に努めます。
3. 事業活動に関する法規制は、確実に厳守することを誓約します。
4. 地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。
5. 継続的な改善を行います

制定日：2018年6月29日

改定日：2020年10月1日

株式会社 環境保全サービス

代表取締役

梅野公俊



## 業務概要 & 認証登録範囲

- 名称及び代表者名  
株式会社 環境保全サービス  
代表取締役 狩野 公俊
  - 所在地  
本社及び資材倉庫 岩手県奥州市水沢卸町4番7  
本社工場及び資材倉庫 岩手県奥州市水沢佐倉河字向川原106-7  
第二リサイクルセンター 岩手県奥州市水沢佐倉河字西上川原112-1
  - 環境管理責任者及び担当者連絡先  
環境管理責任者 リサイクル部長 菊地 信一 TEL: 0197-25-7522  
担当者 営業 狩野 太志 TEL: 0197-23-8141  
FAX: 0197-25-6229 (共通)  
メールアドレス: info@khs.ne.jp  
ホームページ: http://www.khs.ne.jp
  - 事業活動の内容  
産業廃棄物処理業 (廃ガラスリサイクルが中心)、産業廃棄物収集運搬業  
環境機器開発・企画・製造・販売業  
工業薬品・一般雑貨・清掃用品・スポーツ用品販売業  
医療機器・事務用品・電気製品・販売及びメンテナンス
  - 事業規模  
資本金 3,600万円  
売上高 (2021年度) 84,732万円
- | 項目    | 本社及び資材倉庫           | 本社工場及び資材倉庫         | 第二リサイクルセンター<br>-第2工場 | 第二リサイクルセンター<br>-第3工場 |
|-------|--------------------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 従業員   | 10人                | 4人                 | 6人                   |                      |
| 延べ床面積 | 963 m <sup>2</sup> | 886 m <sup>2</sup> | 605 m <sup>2</sup>   | 393 m <sup>2</sup>   |
- 認証登録範囲  
本社、本社工場、第二リサイクルセンター(第2工場、第3工場)  
全サイト・全組織・全活動
  - 営業範囲  
日本全国、大韓民国、台湾 (中国)

8. 社歴

昭和61年 3月  
平成元年 7月  
平成12年 4月

(株)東北ダイワサービスを設立  
社名変更 株式会社 環境保全サービスとなる  
通商産業省認可「廃ガラスリサイクル事業協同組合」  
を設立

(同組合の代表理事会社となる)

平成24年 10月  
平成25年 7月

3R 推進環境大臣表彰受賞  
(株)ホウトク薬品産業、(有)カリノ薬品商事を吸収合併

9. 許可内容

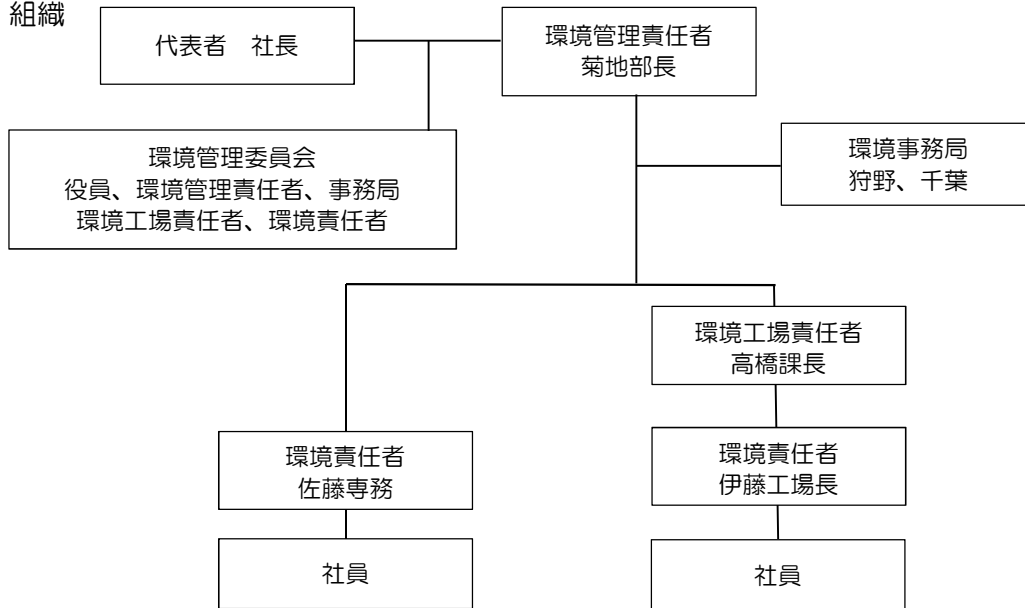
許可名/許可番号	年月日	事業区分、廃棄物の種類
産業廃棄物処分業許可証 00323082891	許可 令和4年2月22日	中間処理。ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず
	有効 令和9年2月21日	
産業廃棄物収集運搬業許可証 00303082891	許可 令和2年4月30日	収集運搬。廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず
	有効 令和7年4月29日	
一般廃棄物処理業許可証 奥州市指令奥環第9号	許可 令和3年4月23日	一般廃棄物のうちガラスくず、陶磁器くずの処分に限る
	有効 令和5年4月22日	
一般廃棄物処理業許可証 金ヶ崎町指令第3-9号	許可 令和4年1月26日	一般廃棄物のうちガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず
	有効 令和6年1月25日	
基準適合産業廃棄物処理業認定証 第2022-028号	許可 令和6年6月24日	収集運搬業 ★★ 中間処理処分業 ★★
	有効 令和6年6月23日	
岩手県再生資源利用認定製品認定証 第15-3号	許可 令和3年4月1日	廃ガラスリサイクル品（クリスタルストーン）
	有効 令和6年3月31日	
岩手県再生資源利用認定製品認定証 第15-4号	許可 令和3年4月1日	廃ガラスリサイクル品（クリスタルサンド）
	有効 令和6年3月31日	
岩手県再生資源利用認定製品認定証 第15-5号	許可 令和3年4月1日	廃ガラスリサイクル品（エリコートE）
	有効 令和6年3月31日	
エコマーク認定 06 131 009	許可 令和3年7月 5日	エコマーク商品類型 No. 131 「土木製品 version1.3」 商品ブランド名 クリスタル
	有効 令和8年1月31日	
医薬品販売業許可証 奥保第50号	許可 令和4年5月13日	取扱品目 第2類医薬品及び第3類医薬品
	有効 令和10年5月12日	
毒物劇物一般販売業登録票 奥保般第431号	許可 令和1年7月 1日	毒物及び劇物販売
	有効 令和7年6月30日	
農薬販売届の受理について 病防第5-76号	許可 平成25年7月 1日	農薬販売
	有効	
計量証明事業登録証 第127号	許可 平成22年2月8日	質量
	有効	
一般建設業の許可について 県知事（般-1）第60305号	許可 令和2年3月27日	機械器具設置工事業
	有効 令和7年3月26日	

## 受託した産業・一般廃棄物の処理量

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法	令和1年度 処理量 (t)	令和2年度 処理量 (t)	令和3年度 処理量 (t)
中間処理	うち再 資源化 等	ガラス、陶磁器	破砕	1551	1283	1410
		ガラス、陶磁器	破砕	1370	1078	1327
		再資源化等量小計		1370	1078	1327
中間処理合計				1551	1283	1410
の中 産間 物業 処理 廃棄 後	再資源化	ガラス、廃プラ混合	委託	181	205	83
		ガラス、陶磁器	有価売却	1370	1078	1327
		再資源化等量小計		1551	1283	1410
中間処理後処分量合計				1551	1283	1410
収集運搬方法等		廃棄物等種類	処分方法	令和1年度 運搬量 (t)	令和2年度 運搬量 (t)	令和3年度 運搬量 (t)
客先から自社		ガラス、陶磁器		—	4.49	5.23

# 実施体制

## 1. 組織



## 2. 環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任。</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>環境管理責任者を任命。</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施。</li> <li>課題とチャンスの明確化</li> <li>実施体制の構築</li> <li>環境方針の作成。</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。</li> <li>環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。</li> <li>内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合がある場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。</li> <li>毎月1回開催し、環境活動の取組を確認する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。</li> <li>不適合、不具合がある場合は環境責任者に是正勧告する。</li> <li>是正後の確認。</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐。</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> <li>取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。</li> </ul>
環境工場責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境責任者に指示し奨励・実施・確認・是正・維持する。</li> </ul>
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。</li> <li>省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。</li> <li>従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>不適合、不具合がある場合は是正処理の実施。</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

# 設備

## ◎本社工場

- ・ 破碎処理施設 I 1 式 (処理能力 4 t / 日)
  - ・ フォークローダー 1 台
  - ・ フォークリフト 2 台
- 収集運搬車両
- ・ ダンプ車 2 台
  - ・ 平ボディー車 1 台

① びんガラス破碎前保管ヤード



② 投入ホッパー  
ガラスびんを自動で投入します。



③ 手選別コンベア  
ガラスびんに混んでいる異物を取り除きます。



④ 一次破碎機  
ガラスびんを破碎します。



⑤ 金属検出機  
金属異物を取り除きます。



⑥ 二次破碎機  
破碎したガラス粒の角を取ります。



⑦ 振動ふるい機  
ガラス粒を大きさ別にふるい分けします。



⑧ 破碎後の製品保管ヤード





◎第二リサイクルセンター（第2工場・第3工場）

- ・ 破砕処理施設Ⅱ（処理能力 2.688 t / 日）
- ・ 破砕処理施設Ⅲ（処理能力 3.328 t / 日）
- ・ 破砕処理施設Ⅳ（処理能力 3.952 t / 日）
- ・ 破砕処理施設Ⅴ（処理能力 400 t / 日）
- ・ 破砕処理施設Ⅵ（処理能力 3.328 t / 日）
- ・ フォークローダー 1台
- ・ フォークリフト 2台

## パネルガラスリサイクルラインフロー

（第2工場）



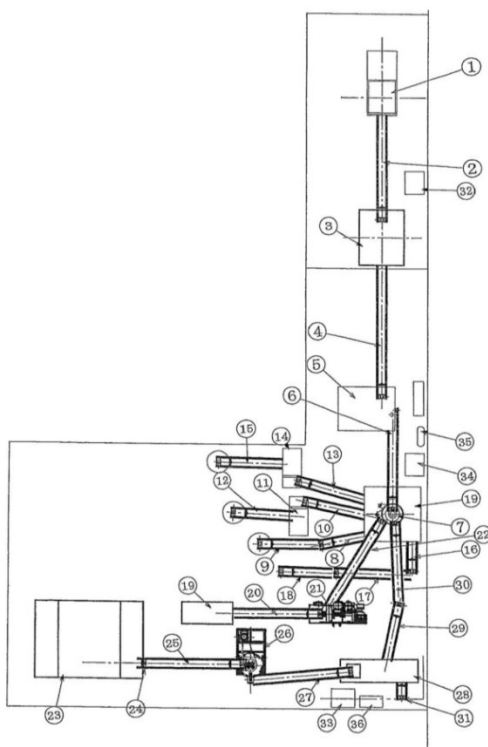
**⑱スパイラル破砕機**  
薄型パネルやソーラーパネルをそのまま投入し破砕します。



**㉑スーパーミル**  
破砕後のガラスのエッジレス加工（角取り）を行います。



**⑦振動ふるい機**  
粒度ごとに製品をふるい分けします。（4種分級）



**㉓ロータリーカッター**  
アルミ付プラズマパネルやソーラーパネルをそのまま投入し破砕します。



**㉔ワイドクラッシャー**  
粗破砕後の製品を攪拌し素材ごとに分離します。



**㉘アルミセパレーター**  
製品中のアルミ、鉄を分離します。



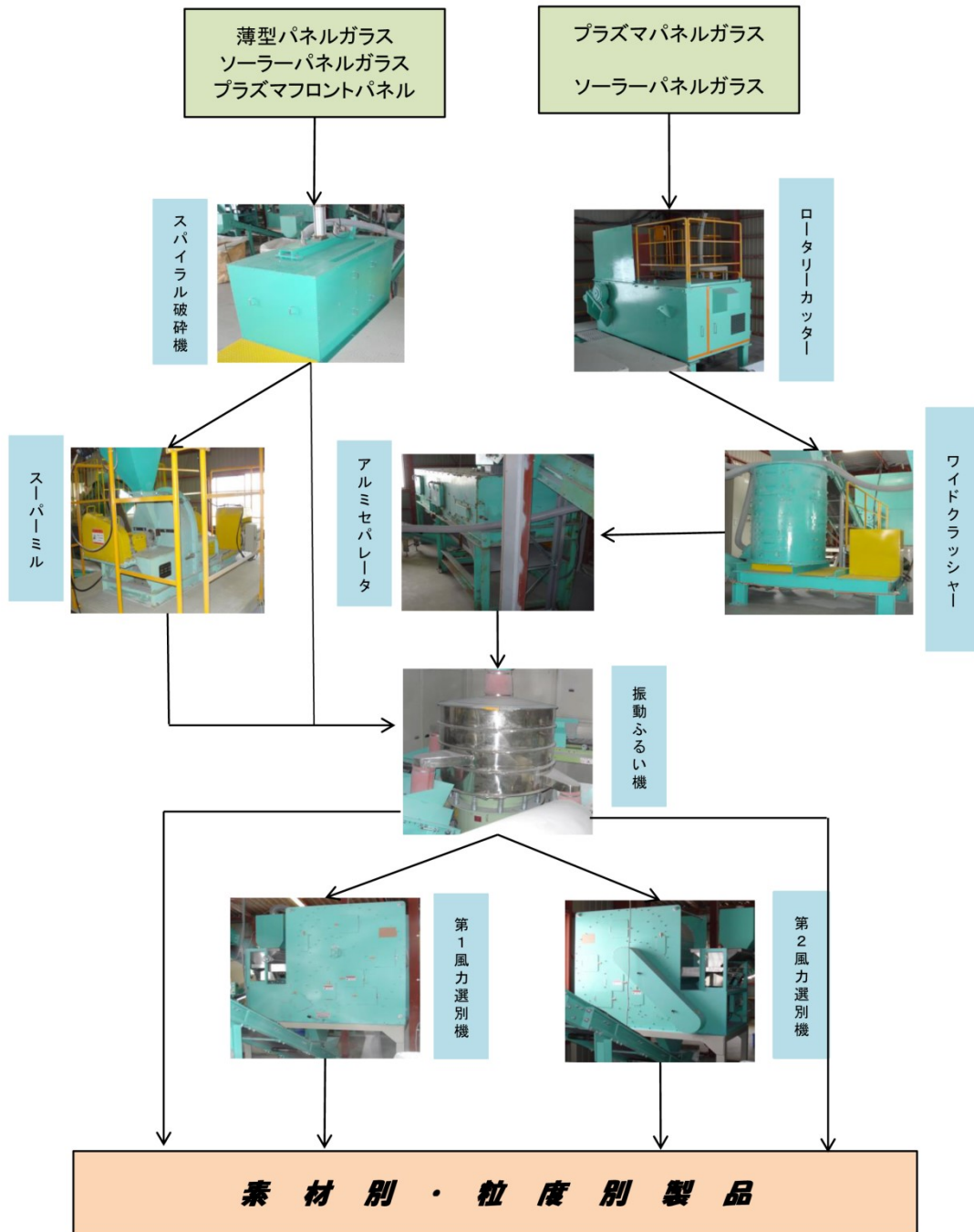
**⑪第1風力選別機**  
製品中の異物を除去します。



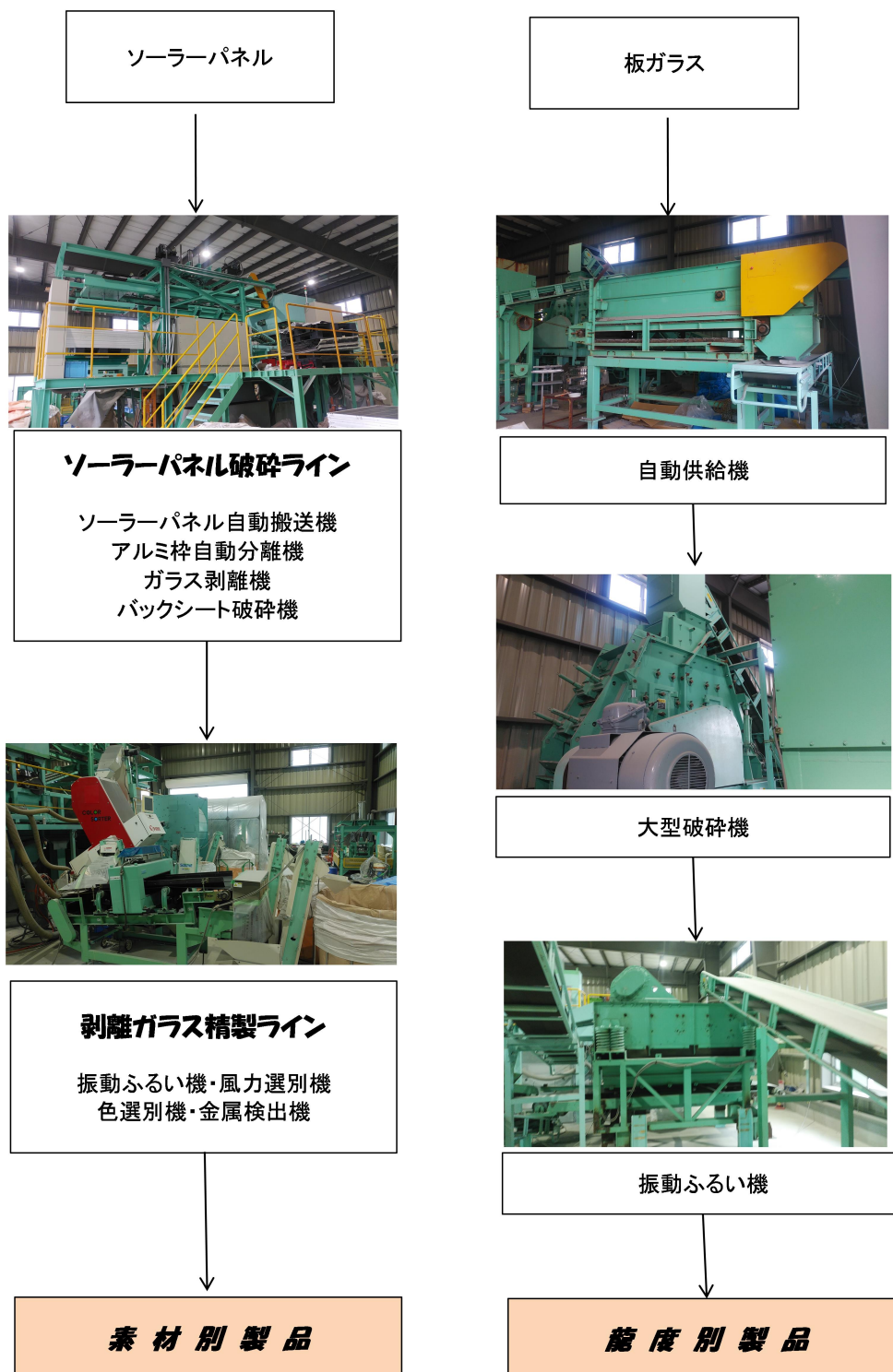
**⑭第2風力選別機**  
製品中の異物を除去します。

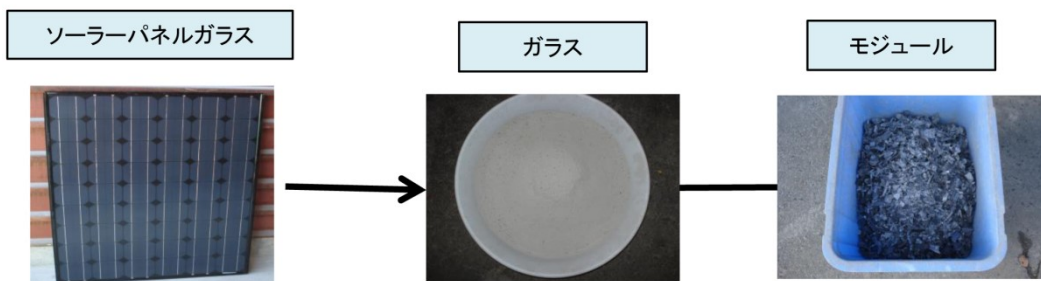
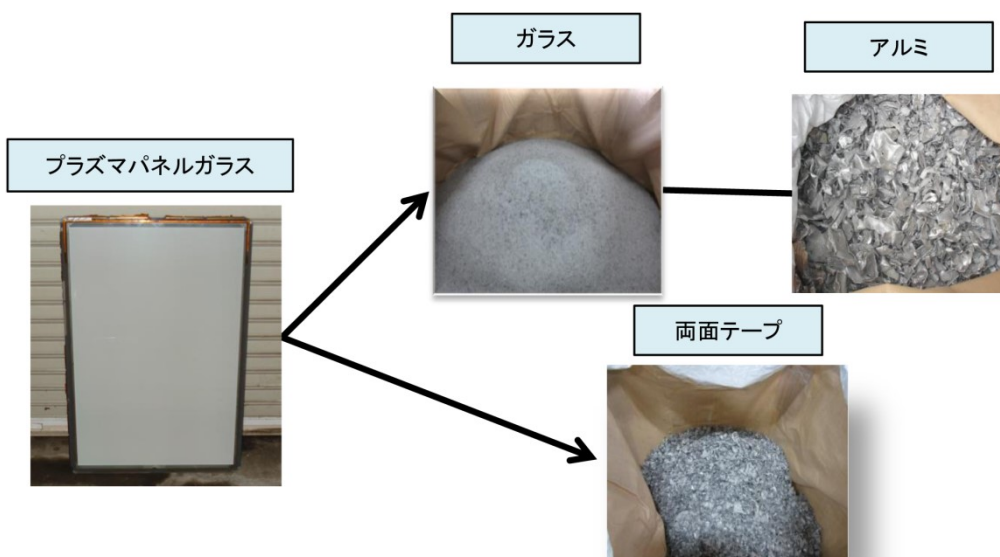
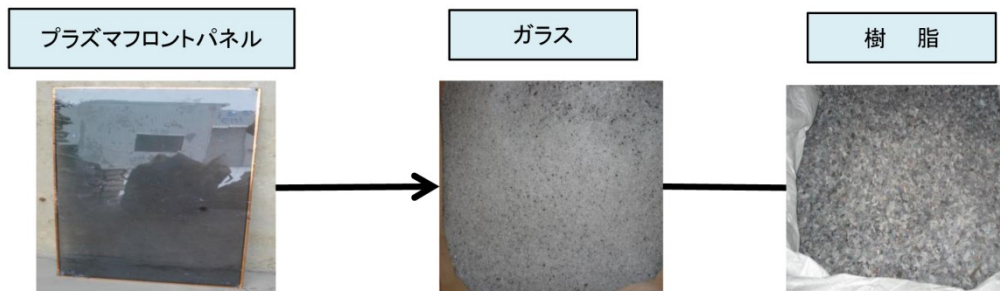
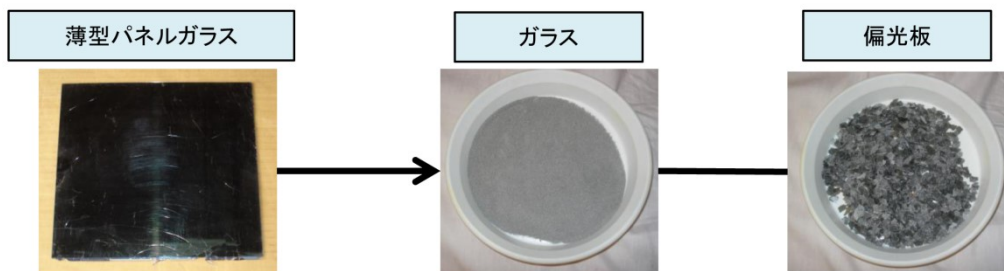
# パネルガラスリサイクルプロセスフロー

(第2工場)



### 第3工場(ソーラーパネル破砕機・板ガラス破砕)フロー





## 環境目標

### 主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	223110	236230	253628
購入電力使用量	kwh	93660	89528	118479
廃棄物排出量	t /年	195	205	40
廃棄物排出量	kg /年	2440	1950	1240

注：購入電力のCO<sub>2</sub>換算係数は、2019年度は、電力は一部オリックスの0.6kg-Co<sub>2</sub>/kwhを使用・その他東北電力CO<sub>2</sub>換算実排出係数0.528CO<sub>2</sub>kg/kwhを使用。2020年度オリックスの0.6kg-Co<sub>2</sub>/kwhを使用・その他東北電力CO<sub>2</sub>換算実排出係数0.528CO<sub>2</sub>kg/kwhを使用。2021年度オリックスの0.6kg-Co<sub>2</sub>/kwhを使用・その他東北電力CO<sub>2</sub>換算実排出係数0.521CO<sub>2</sub>kg/kwhを使用。

### 環境目標

コア指標	環境目標項目	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 (2018年度)	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率) (目標値)		
			基準値	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)		1	2	3
		kwh	122,174	120,952	119,731	118,509
	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%)		1	2	3
		ℓ	13,615	13,479	13,343	13,207
	軽油等の二酸化炭素の削減	削減率(%)		1	2	3
ℓ		39,779	39,381	38,983	38,586	
	二酸化炭素の総量の目標値(上の二酸化炭素の合計) <sup>※5</sup>	増加率		1	2	3
		kg-Co <sub>2</sub>	207,521	205,446	203,371	201,295
	水使用量の削減	水は井戸水を使用しますので、揚水ポンプ:電力使用に含まれます				
廃棄物排出量	一般廃棄物の維持	100	(2019年)			
		%	2440	2440	1950	2440
環境配慮製品・サービス	受託した産業廃棄物のリサイクル率維持	85				
		%	85	85	85	85
社員教育	環境苦情					
		件	0	0	0	0
地域貢献	資質向上教育					
		回	2	2	2	2
地域貢献	地域貢献					
		回	3	3	3	3

## 環境目標の実績

### 当該年度の環境目標の達成状況等

	環境目標項目	削減率又は増加率(%)	基準年度 基準値	目標	実績	評価
		単位	2018年度	2021年度		
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%) kwh	122,174	3 118,509	118,479	○
	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%) ℓ	(2019年) 14,313	2 14,599	16,167	×
	軽油等の二酸化炭素の削減 ※1	削減率(%) ℓ	(2019年) 47,255	3 48,673	51,268	×
	二酸化炭素総量の目標値(上の二酸化炭素の合計)	削減率(%) kgCO <sub>2</sub>	219,632	228,222	239,932	×
	水使用量の削減	水は井戸水を使用しますので、揚水ポンプ: 電力使用に含まれます				-
廃棄物排出量	一般廃棄物の維持	kg	(2019年) 1,240	1,240	1,240	○
環境配慮製品・サービス	受託した産業廃棄物のリサイクル率	増加率(%) %	85	85	85	○
	環境苦情	件	0	0	0	○
資質向上教育	資質向上教育	回	2	2	2	○
地域貢献	地域清掃	回	2	2	2	○

## 環境活動計画の内容と取組結果、次年度以降の取組内容

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。

### 取組内容

	項目	取組内容
二酸化炭素の抑制	節電	照明器具の節電、温度設定管理
	自動車燃料	エコドライブ運転、営業・配達ルートの見直し徹底
	灯油、LPG	温度設定の管理
一般廃棄物の削減	書類の簡素化	社内ネットワーク利用、メールの利用
	使用料の抑制	両面印刷、使用済み用紙の裏面を利用、コピー機使用後にリセットボタンを押し、ミスコピーを減らす
	分別	個人情報を含んだ書類→シュレッダー→緩衝材として使用 それ以外の紙ごみ、コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙を分別保管し資源回収業者へ渡す
	その他	再生紙の利用、使い捨て用品の抑制、トナーカートリッジの回収
節水・排水	用水・排水	水漏れチェック
		節水表示
		蛇口の締め忘れチェック、出しすぎ注意
その他の取組	施設・設備	社屋周辺の清掃、草刈、草取り
		社員教育で意識向上を図る
		工業用薬品の混入や流出、盗難に注意する
製品・サービスに関する取組		ガラス再生品の販売促進

・次年度以降の環境目標

コア指標	環境目標項目	削減率又は 増加率(%)  単位	基準年度 (2021年度)	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率) (目標値)		
			基準値	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)		1	2	3
		kwh	118,479	117,294	116,109	114,925
	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%)		1	2	3
		ℓ	16,167	16,005	15,844	15,682
	軽油等の二酸化炭素の削減	削減率(%)		1	2	3
ℓ		51,268	50,755	50,243	49,730	
二酸化炭素の総量の目標値(上の二酸化炭素の合計)		増加率		1	2	3
		kg-Co2	239,932	237,533	235,157	232,806
水使用量の削減		水は井戸水を使用しますので、揚水ポンプ:電力使用に含まれます				
廃棄物排出量	一般廃棄物の維持	100	(2021年)			
		%	1240	1240	1240	1240
環境配慮 製品 ・サービス	受託した産業廃棄物のリサイクル率維持	85				
		%	85	85	85	85
社員教育	環境苦情					
		件	0	0	0	0
地域貢献	資質向上教育					
		回	2	2	2	2
地域貢献	地域貢献					
		回	2	2	2	2



## 取組結果

項目		取組結果
二酸化炭素排出量の削減	節電	照明→手順に沿って時間や人数に応じて消灯している LED化にはもう少し時間がかかるが時期をみて交換する PC等→パソコンはECOモードにする等省エネ対応にした 電化製品は使用していない時はプラグを外すようにした 冷暖房→温度管理をして、窓を開けたり、 扇風機やサーキュレータを用いた
	自動車燃料	エコドライブ運転→まだ定着していない ルート→予定表で確認しながら、ダブったり週に何度も行くことのないようにできた
一般廃棄物の削減	書類の簡素化	ネットワーク、メール利用 →印刷しないように心掛けているが、パソコンが本社にしかないので、工場への伝達などが印刷物になってしまうばあいがあるが、なるべく1枚で済むようにしている（人数分の印刷はしない）
	使用料の抑制	両面印刷 → 注文書、発注書、日報など社内用文書などは裏紙で印刷した ミスコピー → コピー機にリセットボタンを押すよう表示したため ミスが少なくなった
	分別	個人情報書類 → シュレッダーし緩衝材に用いた 上記以外の紙ごみ、コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙は分別し各回収BOXを作り、集め、回収業者へ渡した
	その他	再生紙の利用、使い捨て用品の抑制、トナーカートリッジの回収は以前から行っており今後も継続していきます
節水・排水	用水・排水	節水の表示をしたことにより、蛇口の閉め忘れや出しっぱなし、出しすぎ等社員全員が気をつけるようになった
その他の取組	施設・設備	流出 → 土のう袋や吸着マット、ウエスを用意し保管場所を作り表示した 別な性質の薬品の混入を防ぐため、別々に保管し、表示している 工業用薬品の盗難防止の為、施錠確認を毎日行った 事務所周辺の清掃、草刈り、草取り→5、6月に行った。今後も定期的に行う
	地域活動	卸町地内公園付近の清掃産業を行った。今後も定期的に行う
製品・サービスに関する取組		ガラス砂の新しい用途として、太陽光発電所向け防草用資材として、新規販売を目指し営業活動を行った。

## 次年度の取組内容

項目		取組内容
二酸化炭素排出量の削減	節電	照明器具や電化製品は省エネタイプのものを選ぶ 工場の設備機器は、使用時間帯などを考慮し適切に使用する
	自動車燃料	引き続き、エコドライブを徹底するように指導していく
一般廃棄物の削減	使用料の抑制	社内用文書は裏紙を使う（100%）
	分別	紙ごみに限らず、リサイクルできるものは分別し、回収業者に渡すようにする（リサイクル率 前年比1%増）
節水・排水	用水・排水	引き続き、水の出しすぎ、出っぱなしに注意する
その他の取組	施設・設備	4月～9月までは草刈り、草取りをします
	地域活動	清掃活動等を4月～10月の間行います

## 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	見直し指示
1 環境方針	社内での徹底度は概ね良好と判断する	現状維持
2 環境目標	CO2削減は昨年度と同様に第3工場のフル稼働で達成出来なかった	現在、工場の電力を自家発電で賄っているが再生エネルギーの使用ができるか検討指示する
3 環境活動計画	社内徹底度は良好であった	現状維持
4 環境経営システム ・実施体制	概ね良好であった	新年度は弊社の太陽光パネルリサイクル装置の販売を促進することで環境に貢献できるようにする
5 その他		来年度もJ-クレジットを購入するよう検討指示する
<p>全体評価</p> <p>社員が高齢化しているので、各作業毎に効率と安全を配慮した無理のない作業、そしてCO2の削減を検討する。</p>		

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、ここ暫く、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題はありませんでした。